藩の城下町や東海道の宿場町、水運の拠点で栄え、明治以降は「軍都豊橋」 通の要衡だ。 市名も豊川に掛かる橋名が由来となっている。 江戸時代は吉田

愛知県の東三河南部に位置する豊橋市は、東海道と豊川水運が交差する交

と称されるほど軍事産業で繁栄したという。豊橋市と豊川市に計4工場を構

SUMITOMO

拠点所在地 株式会社 紅久 愛知県豊橋市神野新田チノ割12番地 TEL: 0532-32-8888 FAX: 0532-32-8283 URL: https://www.benikyu.com. プ会社) 三河湾 浜名湖 湖西市 浜松市 東海道新幹線 東海道本線

ら、より高度なリサイクルの

対応などの国内外の動きを知

年には愛知環境賞で銀賞を、

豊橋商工会議所環境経営賞で

サイクルにも領域を広げなが ナックなどのマテリアルのリ

現在もSDGs活動の広がり

ーキュラーエコノミーの カーボンニュートラル

ル法の認定事業者となった。 で初となる小型家電リサイク

ラップを軸に非鉄や廃プラス 合商社として、

主力の鉄スク

近年は金属リサイクルの総

紅花商から金属リサイクル 変化を重ねた250年

達の紅花製品を販売していた。 久兵衛にちなみ「紅久」とし た。当時は新政府軍の兵舎が クルに業を転換。 退をたどる中で、 普及により本業の紅花業が衰 幕藩体制の崩壊や化学染料の 一浦多吉氏が業種変更を決断 (明治35年) に八代目当主・ たことだ。明治維新による 金属リサイ 屋号を紅屋

花商御用商人の営業許可を取

七代にわたり「紅

(安永4年)に吉田藩より紅

業は江戸時代の1700年代 する変化を重ねたものだ。創

紅久の歴史は、時代に対応

大きな変革点が1902年

初期(享保年間)で紅花商と

て始まった。1775年

を設立。前年から世界でスペ 内でも多数の死者を出してい とする「合名会社紅久商店」 イン風邪が流行しており、国

設備投資と現場の技術力で

局度なリサイクルを追求

属リサイクル業への進出につ として発展する黎明期だ。金 たのではないか」という。 性が増したことも背景にあっ 発展で金属リサイクルの重要 いて三浦社長は「軍事産業の 設置されるなど、豊橋が軍都 1919年に多吉氏を代表

業「中村金属興業」をM&A プの一大発生地である浜松地 で子会社化し、工場スクラッ 変化の流れは今も受け継が

れている。2019年、静岡 県浜松市の金属リサイクル企 鋼所の稼働に伴い指定直納問 屋として原料納入を開始した。 8年には株式会社化。東都製 する大きな転機になった_ 乗り越えたことは組織が成長 よる先が見えないこの時代を た頃だ。「未知のウイルスに (三浦社長) という。 195 (現・トピー工業) 豊橋製

を込めた改称だった。 など古き良きものを残しつつ、 続く2021年には商号を がっている」と話す。 時代に合わせた組織のルール ねた信頼関係や情が厚い社風 長を続けていくことへの決意 化など会社としての器を新り 「紅久」に変更した。積み重 前年に発生したコロナ禍が

え、静岡県浜松市のグループ企業を併せた5拠点で金属を中心としたリサイ クル事業を行う紅久(本社=豊橋市神野新田町、三浦裕司社長)を訪れた。

红久(爱知

(豊橋市神野新田町)

ラップを取扱っている。 間3万5000~4万% る。市内の路面電車には 献活動にも力を入れてい スケットボールチームの 社4工場を合わせて、 社人のラッピング車両が スポンサーなど、地域貢 (代納含む) の鉄スク 環境保全活動や地元バ

られることによって緊張感が 走る。三浦社長は「外から見 高まる。この緊張感は工場の 整理整頓や安全確保にもつな

左から三浦社長と山崎常務 感に捉えつつ、

的に進めている。 る経営資源を管理 **統括する常務執行** 人員や資金と

クルを実現する設 いった高度リサイ 備への投資を積極

砕機や選別機と 最優秀賞を受賞している。

果は高く評価され、2017 の能力に加えて、これらの設 有する高度な知識と技術が大 力こそ、紅久が独自に有する 備を適切に運用できる現場の 技術力の真髄だ。 ^{区員の山崎剛業務統括部長は} その技術と環境負荷低減効 い」という。最新鋭の機械

てていく方針だ。三浦社長は る取引先の企業経営にも役立 廃棄物の排出削減などを進め SDGsに取り組まれるお 紅久のリサイクル技術は、

~住友建機がある風景~



SH330LC-7MH: 月間1万5000^トンの鉄スクラップを扱う (本社工場) 本社工場では4機の住友建機製マシン が稼働している。2023年に導入した SH330LC-7MHは工場内の主力機と して活躍している。

新時代の機械にも「堅牢さ」を

「社員の家族が誇れる企業にしたい」(三浦 社長)と、いち早くから5S(整理、整頓、清掃 を徹底してきた紅久の工場では、 住友建機のマシンも定期的な掃除を行ってお 塗装カラーを鮮やかに保っている。山崎 「機械を大切にすることで、現場ス タッフの意識に大きな違いが生まれる。安全 面を保つ上でもその効果は大きい」と話す。

紅久では本社工場に4機、東工場に3機 白鳥工場に2機の住友建機製マシンを導入し くいる。これらはノルトーサー整備(本社=



愛知県豊川市、 森太郎社長)が 販売からメンテ ナンスを手がけ ている。

住友建機の初 導入はおよそ SH250-7MH(本社工場) 20年前だった。 当時は他にはなかったロングアームでも標準 タイプのマグネットが装着できるといった機 能性や機械の堅牢さが紅久にマッチした。

:浦社長はフットワークが軽いブルド -整備のメンテナンスを高く評価する 性能が進化するがゆえに複雑化する機械 「住友建機に限らず、かつての堅牢さ が失われているのではないか」と指摘する。 機能性、環境性、耐久性を併せ持つ機械が高 度なリサイクルを追求する新時代のマシンと して求められている。

担当:影山 友-

まに「住友の機械 お客さ が一番良い」と言っていた だける事にやりがいを感じ ています。何でも相談して いただけるよう頑張ってま いります。



◆ 住友建機販売株式会社 浜松営業所

〒435-0013 静岡県浜松市中央区天龍川町490-1 Tel: 050-9001-8645 Fax: 053-411-6364